

# 佐賀偉人伝

平成 22 年度出版の 3 冊

かれらは未来を信じた、そして切りひらいた

幕末明治期の激動する日本にあって、たくさんの佐賀人が活躍したことを知っていますか？

幕末の佐賀藩は、いち早く西欧の技術を導入し、大砲や蒸気船の製造、西洋医学の研究など、さまざまな分野において日本最先端を誇りました。明治新政府には多くの人材をおくりだし、新しい時代を築くために奮闘しました。佐賀城本丸歴史館では、幕末明治期に活躍した人物をシリーズで紹介する「佐賀偉人伝」の刊行を開始します。

全 15 冊予定（毎年度 3 冊程度×5 年間）／A 5 判・112 頁



写真提供：佐賀県立美術館



### 鍋島直正について（副島種臣のことば）

同公は元来其行いが正しい人である。……同公は極めて慈悲心深き人で、刑罰の<sup>ため</sup>に罪人を殺すべきことあるときは之が<sup>ため</sup>に惻然として涙を垂れ、前夜から酒も禁じて居られた。而も単に此一段の慈悲心<sup>のみ</sup>に止まらずして、平素領内人民の教化を重んじ之を<sup>勉め</sup>られたるが故に、当時佐賀領内には盗賊ちうものは極めて稀れにして、死刑あることが大抵十年に一度位に過ぎず、……故に当時佐賀領内は、真に夜雨戸を締めずして寝ると云う位であった。是れ閑叟の徳沢が深く民心に入つたる結果である。

（「副島伯経歴偶談」〈『副島種臣全集』2 著述編II〉慧文社）



### 大隈重信のことば

……人生は川の流に等しい。少年のさまは流れの源の如く、老人のさまは下流のようである。水が初めて源から出発すると、障害にあえば十丈の瀧になり、けわしい処では奔流となり、留まれば淵となり、急に放すと瀬となり、或いは大きな岩を裂き、或いは大木を越えて、跳るが如く、走るが如く、怒るが如く、笑うが如く、争うが如く、戦うが如く、忽ち分かれ、忽ち結合し、……これは少年が始めて志を立て、世の中に突込んで行く有様に似ていないだろうか。……ただ彼らの決心と勇氣とは、世間の心の強い人をたじろがすには充分なものがある。

（『大隈伯昔日譚』早稲田大学出版部）



写真提供：佐賀県立美術館

### 岡田三郎助のことば

東京白馬会では何等問題にならなかった黒田さんの裸体画が、京都博覧会において突然大問題を醸し、ほとんど、撤回されんばかりになったのもこの年であった。……世論は毀誉相半ばし、どちらにしてもその事件を書かなければ新聞も雑誌も時世に遅れたような状態を呈したのは、油絵の一般化には多大な効果があったようである。……ただ一種の習慣上、陛下が行幸遊ばされた際、絵を布で一時的に隠したと言うのは今日顧みて甚だ遺憾だとも思われるが、その当時としては致し方も無かった事だろうと考える。

（『美術』第14巻第3号）

A5判・112頁

全15冊予定（毎年度3冊程度×5年間〈平成22～26年度〉）

▽ご注文はお近くの書店または佐賀城本丸歴史館へ。佐賀城本丸歴史館からの購入で配送をご希望の場合は、別途、送料と振込手数料が必要です。

—佐賀偉人伝—

鍋島直正 を（ 冊）申し込みます。  
 大隈重信 を（ 冊）申し込みます。  
 岡田三郎助 を（ 冊）申し込みます。

ご住所（〒 — ）

お名前（フリガナ）

お電話番号 — —

取扱い店名	年	月	日
2010.9.1			

佐賀県立佐賀城本丸歴史館 〒840-0041 佐賀市城内2-18-1

TEL 0952-41-7550 FAX 0952-28-0220 ホームページ <http://sagajou.jp/sagajinden/> Eメール [sagajou@pref.saga.lg.jp](mailto:sagajou@pref.saga.lg.jp)